

平成 31 年 4 月 30 日

報 道 各 社 様

東 山 総 合 公 園
担当 動物園 白木・内藤
電話 7 8 2 - 2 1 1 1

ツシマヤマネコが死亡しました

平成 31 年 4 月 29 日に東山動植物園で飼育していたツシマヤマネコ (No.45、オス、推定 15 歳以上、愛称「エビゾウ」) が死亡しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 死亡したツシマヤマネコ

- ・愛 称：エビゾウ
- ・性 別：オス
- ・年 齢：推定 15 歳以上 (2004 年対馬で保護)

2 死因

調査中 (呼吸器疾患と推定)

3 死亡までの経緯

平成 31 年 4 月 29 日夕方、飼育員がツシマヤマネコ舎で倒れているエビゾウを発見し、その後、動物病院で死亡が確認されました。老齢個体ということもあり、普段から特に気にかけて飼育していましたが、先週から食欲が急激になくなり、検査で呼吸器系に異常があることがわかりました。治療を続けてきましたが、残念な結果になってしまいました。

4 エピソード

平成 16 年に対馬市上対馬町にて、衰弱しているところを保護されました。その後、井の頭自然文化園、福岡市動物園、よこはま動物園等で飼育され、平成 30 年 12 月に東山動植物園へ来園しました。堂々とした性格で、またふてぶてしいところもあり、他の個体に比べてよく鳴くのが特徴的でした。

【参考】

■東山動植物園のツシマヤマネコ飼育頭数（死亡した個体を除く）

3頭（オス2頭、メス1頭）

■国内のツシマヤマネコ飼育頭数

9施設 37頭（オス18頭、メス16頭、不明3頭） ※平成31年4月29日現在
（今回の死亡個体を除く）

■ツシマヤマネコについて

長崎県の対馬だけに分布する野生のネコであり、ベンガルヤマネコの亜種とされています。生息数は70または100頭程度と絶滅が心配されており、平成6年3月に国内希少野生動植物種に指定されました。体長 約50～60cm、体重 約3～5kgの大きさと、体全体の斑点模様、額の縞、耳裏の白斑（虎耳状斑）が特徴です。主に森林に生息していますが、田や畑でネズミやモグラなどを捕食します。絶滅危惧IA類（環境省レッドリスト2019）。国の天然記念物。

■写真



在りし日のエビゾウ